

2005年4月3日

猪苗代で給油して、夕飯のおかず買って、神社によって明るいうちにスギの木の穴みたら、眠たげなムササビの顔がでてた。びっ…びっくり。思わず後ずさり。飛ばないかなあ、と別の木の陰で待つ…ほっほう・ほろっほ・ほっほう。(あわあわっ)18:28大音量のフクロウの声。(直後！フクロウ目の前飛んでったっ)

19時。離れた方から再びフクロウの声。ムササビの動きはない。もう1時間か。足が冷たいな。お腹もへった。帰るか～。

念のため穴を照らしてみる。ムササビの顔がでてた。やばっ！ムツとしてる！ごめんっ！退散しますっ。(まき)

2005年4月5日

ボード背負って西大巔。お客さんと一緒のときや雪が深いときは1時間30分から3時間(!)かかるルートも、この時期にひとりで登れば45分。

山頂で昼飯。西吾妻山と中吾妻山は生のまま丸かじり。箕輪山から和尚山までは串焼きにして、磐梯山は櫛ヶ峰と軽く炒める。そして食後のデザートにこの斜面。ごちそうさまでした。(りょう)

2005年4月6日

4月に入り1週間が過ぎ、桜の開花を知らせるニュースを聞き春を感じていますが、裏磐梯はご覧の通りまだ冬景色です(雪はグズグズですが…)。今年は降り始めが1ヶ月遅かったのも雪解けも遅れるのではないかとわさしてますが、GWに桧原湖の氷が解けなかったら遊覧船が出せない!とほほ。(もく)



春ですねえ。桜、満開ですか？

1週間前は真冬の様相だった裏磐梯も、春、ですよ。だってウサギの耳が茶色いもん。なんだかうれしいような寂しいような。

けんちゃん猫魔スキー場から雄国方面へ滑る。Tシャツの中を暖かい風が泳ぐのが心地いい。雄国沼南岸を古城ヶ峰を眺めながら散歩。湿原を渡り、金沢峠上付近の尾根を渡り歩く。眼下にうっすら会津盆地。

雄国山の先から桜峠牧場方面へ滑りたかったが雪が少ない。一足遅かったか。いい斜面なんだけどね。おとなしく熊落とシルルートで帰還。うー、今日の目的達成できず…でも春だから、ま、いっか。(りょう)

2005年4月7日

今夜は7°C微風、星空。落ち着いて観察できる気象条件!さ、裏磐梯のムササビの森へ。雪が消える前に歩いておこなきゃフンや食痕が探しづらくなる。

日没18:06、18:18から森に入る。あ、またミズメ大量に食べてる。こういうのを見つけるのもめざとくなつたなあ～。お、フンも多い。ではこの辺りで張り込みますか～。

18:43「ほう…ほう」へー裏磐梯のムササビの森にもフクロウいるんだ。ムサとフクロウはセットなのかな。19:19「ぐぐぐ」あっ、ムササビが鳴いたっ!この後20:05まで張り込むが会えず。2月に初めて会って以来、ここのムサに会えない記録更新中(泣)。(まき)

雨、降りそう。でも行っちゃえ、西大巔。すっかりバックカントリーづいてる今日このごろ。まきさん、けんちゃん、すずかけファミリー。テレマーク、アルペン、ボードな混成チーム。登るペースも下るペースも人それぞれなのはご愛嬌。森の中で熱唱する校歌もまたご愛嬌。でも、森の中に漂う納豆の臭いはやっぱダメかも。

ところで、他人が滑っているときについつい叫んでしまう、あの「ヒュー」っていうひやかしみたいな裏声、何なんでしょうね。誰かに教わったわけでもないのに自然に出てくる。なんで？。。。そう、それはきっと、魂と魂のぶつかり合い。

“魂の滑り”対して“魂が答える”声なのです。おっ、うまいこと言った。(ソウルフルりょう)

2005年4月8日

『西吾妻山頂の樹氷の森がとうとう融けてしまった。今シーズンはデコから西大嶺ー西吾妻のコースをスノーシューやスキーでよく歩いた。

完璧な晴れの時もあれば全く見通しきかない雲の中だったりと様々な時に歩いたが、その度にモンスター(樹氷)と出くわした。

ホワイトアウトの中でいきなり出てきてちょっと怖い…帰りなッ！という雰囲気漂わせていたり、青空の下日向ぼっこしていたりと、かなりきまぐれなモンスター。

そんな奴らが昨日西大嶺に上がってみたら居なくなっていた。モンスターたちよまた来年！』(けんじ)



季節はずれの樹氷の写真→

2005年4月9日

あ、けんちゃん？小屋泊まり？どこの？雄国？うん、行く行く。

ひさしぶりのテレマーク。いつもよりちょっと重めのザック。いつもどおりのショボい滑り。

ほっとけ。

泊まりだと夕陽ものんびり眺められる。19時過ぎには夕食を終え、寝床に。木々の間をすり抜ける冷やかすような風の大声と、フリース着込んでシュラフに包まれても耐え難い寒さ。こりゃ寝れねーなと思いつつ、しっかり夢見ました。

「けんちゃん、クマ！大丈夫、倒すから！」意味わからん。

朝、窓の向こうには霧氷。朝イチで意表をつかれたように逃げていくウサギやネズミを横目に、ショボいテレマークは雄子沢を下る。(りょう)

雪が消える前に歩いておかなきゃ！…て場所は裏磐梯だけでもいっぱいあって、けんちゃん誘って高曾根山へなちょこテレマークツアー。

360°展望の山頂、大きなブナの森。奥山に来てる感じ。私の住んでる村にこんないいとあったのか！…ひとり初めて行った時の感激をまずはもくもくスタッフと分かちあいたいと思っていた。1シーズンごしでそれが叶った。うれしい。

穏やかに晴れ。飯豊をバックに山頂でお昼。土曜日だからか3組7人と出会った。郡山のご夫婦はこの山を大切に思ってるらしく、シーズンに数回訪れているそう。「この山の下に私の生まれたところがある」と旦那さん。ああそれなら想いもひとしおだなあ。

帰りは高橋初ルート。地図確認しながら行く予定だったが、途中で会った長靴履いた人が先に歩いてたので、彼の足跡も参考にした。この人がまた迷いのない完璧なルートどり！「やるなあ！長靴オヤジ！」けんちゃんと私は尊敬の意を込めて何度もこう言うようになった。(まき)

2005年4月10日

今日も穏やか春うらら～。りょう君、けんちゃんとまた！(笑)高曾根山。

コーヒーマルやドリッパーも持っていき山頂で豆挽いてお湯沸かしてコーヒー入れた。うまー。これがやりたかったのよ～。

のんびりしてたら山頂私たちだけ。けんちゃんのカメラのセルフタイマーで記念撮影。撮り

幅。こりゃ鍛えられるわ。ついつい山頂2往復。
麓に戻ると雨。レストランでキャラメルラテすすりながらひとり寂しく反省会。
知ってる？ウサギは寂しいと死んじゃうんだって。だれかかまって。(ウサちゃんりょう)

ちょっとかわいくしてみた。新境地開拓。よしっ。

2005年4月19日

かつていそろうしてた裏磐梯の喫茶店が、三春に移って早2年。「何にします？」
「世界一おいしいコーヒーとケーキ下さい。山盛りで」
世界一のコーヒータイムを過ごしながら、彼女から三春ムササビ情報をもらう。
町からはなれたその神社に行くと、隣の建物の屋根ふきなおす仕事している人達がい
た。挨拶し話したら、なんと赤沼さんの知り合い。こんな偶然もあるのね(笑)。(まき)

2005年4月20日

郡山の公園でキツネを見た！！ 14:03雨の中芝生を横切った…。
公園に行った目的は別のことだったが、キツネですよ、もーHAPPY！
午前中は裏磐梯の新地点でモモンガのふん見つけたし、やーLUCKY！(まき)

2005年4月21日

山形の高校生と残雪の五色沼を歩く。入学したてでさうで、みんな初々しい。今日に限ら
ずよく話題に出ることだが、裏磐梯のコンビニやガソリンスタンドの看板が茶色いのがやっ
ぱり気になるらしい。ある生徒がポツリ一言。「自動販売機も茶色にすればいいのに」…ご
もつとも。(りょう)

2005年4月23日

昨日今日裏磐梯は雪つもりました。確か去年の今頃も降ったような…。
久しぶりの観察会。堅雪歩いてミズバショウの咲いてるすぐそばまで行く。その水辺には
ヤマアカガエルのぷりっとした卵塊も。マルバマンサク咲き始め。車で10分南下。雪の量
がぐっと少なくなり、フキノトウが出ている。
クロサンショウウオの卵塊のなかみたら、オタマ状態の子供に育ってた。ミズスマシくるく
る。ヤマアカガエルのオタマが泳いでる。…早春ですなあ。サクラはまだまだ～。(まき)

2005年4月24日

雪の降り始めが遅く、心配しながらスタート
した'05冬シーズンですが24日の浄土平ツア
ーで全て無事終了しました。
当日は高気圧に覆われ最後を飾るのに相
応しい春ツアーでした。今シーズン企画に参
加した全てのNスキーヤー & スノーシューア
ーの皆さんお疲れ様 & ありがとうございます
た。
来シーズンも宜しくお願いします。
P.S.グリーンシーズンも楽しい企画でお待ち
しています。(もく)



2005年4月25日

今月は毎週埼玉(=高橋産地)に通ってます。長距離運転好きじゃないので鈍行(新幹線使
わないのが高橋流)。
宇都宮駅ビルの八重洲ブックセンターは毎回途中下車して寄って店員さんの顔覚えてぞ

(笑)。

おかげで今年の4月は何度も満開のサクラ見てる。今回は栃木の北のあたりがきれいだった。今ごろの栃木は田んぼに水が張られて、新緑の林がそこに写しだされて、ムギの穂が明るい黄緑に輝いて、こいのぼりが空になびいて、あっ、新中学生だ(笑)ってわかるうーうーいい人達が車両に乗っている。(まき)

2005年4月28日

檜原湖一周の道路が開通(冬は細野～桧原間通行止め)！

友達も来たしドライブだ。

23日には流氷(笑)が見られた湖面もさざなみに光る春の日差し。船も走ってる。細野のミズバショウ咲くハンノキ林はまだ雪におおわれてます。金山浜のミズバショウは見頃。

レンゲ沼はまだ半分凍ってる。歩道は歩けるみたいです。(まき)

2005年4月29日

秋元湖レポート。

【鳥】キンクロハジロ、シジュウカラ、ヤマガラ、カケス、ヤマドリ、ツツドリ(声。初鳴き?)、他にもいたけどはっきり確認できない。

【両生類】クロサンショウウオ卵塊、ヤマアカガエル卵塊と親。

【花】アオイスミレ、ヒナスミレ、マルバマンサク、キブシ、ツノハシバミ、フキ、ミズバショウ、キクザキイチゲ(白、青紫)、ニリンソウ(咲き始め)、オニシバリ、ブナ、コブシ、イワナシ、ウスバサイシン。

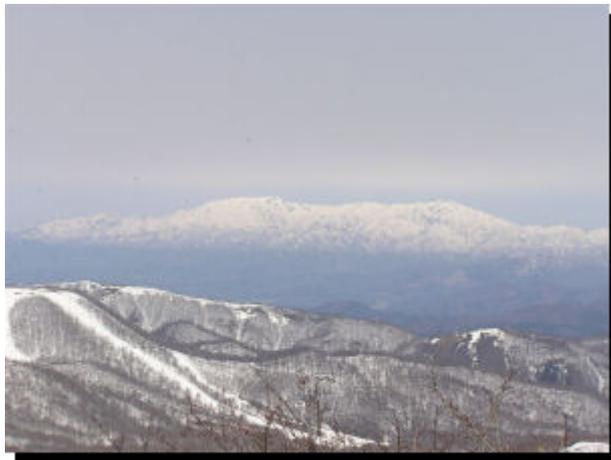
【他】ウサギふん、サルふん、リス食痕、キャンパー。道に残雪あり。カツラの若葉が赤くてきれい。

(まき)

2005年4月30日

この春初めてのガイドで久しぶりの磐梯山。全行程の90%は雪道で参加者全員アイゼン装着でした。

でも、前日の悪天候から一変ドッピーカンになり、飯豊、朝日、月山、そして鳥海まで360度の大パノラマを満喫し、仕事を忘れての山行でした。(もく)



2005年5月1日

5月の幕開けは、5時20分ふとんのなかでうとうとしながら聞く鳥の声。

シジュウカラ…キツツキのドラミング…カラス…ムクドリ…ウグイス…スズメ…トビかな…聞きなれた声の合間に、こころ待ちにした声が！

オオジシギ。今年もオーストラリアからやってきたんだね。ああよかった…。

ようこそ裏磐梯へ。(まき)

2005年5月3日

早朝、リョウ君と2人でまだまだ雪の残る磐梯山を登る。雲ひとつない快晴！残雪時期独特の山の雰囲気はひんやりした空気と相まって心地好い。

下山は登山道ではなく雪の残っている尾根を地図と照らし合わせながら歩いているとスキーやボードで滑るには絶好の沢を発見ッ！しかも距離が長い。

来シーズンはぜひ滑りに来ようと喜んでいたら、突然藪の方からガサガサーと黒い物体が斜面を横切っていくではないか。ツキノグマだッ！身体は逃げたいんだけど目はクマに見入ってしまって2人とも茫然と立ち尽くしてしまった。

今までも何回か見てるがやっぱり怖い、しかし過ぎ去ってしまうとクマに出会えた嬉しさが残ってしまう。ちょっと危険ですね…

来年の冬またこの沢に来ることをおもいながら無事下山。(けんじ)

2005年5月5日

裏磐梯の甚九郎山に登る。やぶこぎ！ササは背より高く、はねて目にはいる。痛い。残雪があるとかき分けずに済むので、ほっ。なにを好きこのんで…実はやぶこぎ好きかも。地形図片手に道なき森をゆくのが。

加えてムササビの生息域把握をしたかったので、地面を見つめて進む。雪が無くなったら食痕やふんが見つからないかと思ってたけど…一番見たいものは見つかるんですね～(笑)。大漁～。

山は大きいブナとトチノキの森。沢筋にはまだカツラの赤い芽もあって、木の間越しには檜原湖の光る水面も見えて、しばしば立ち止まり、芽吹き of 森の心地よさをかみしめてました。(まき)

今日も登るぜ会津の名山、弘法清水でけんちゃん安産、熊にバツタリそそくさ退散、沢を下れば魅力に降参。もくもくエクストリームチーム『乳酸's』のワタナベです。MTBで檜原湖1周しました。

曾原をスタート。まず、早稲沢の熊まつりで熊汁を食す。農道で道草。ときに水芭蕉の美しさに足を止める。

檜原の廃校を改修したフォトギャラリー「こらんしょ」にて写真鑑賞しつつ、サーターアンダギーを購入。裏磐梯でなぜ？というのはさておき、これがまたうまいのだ。

新緑の時期の檜原～細野間は、まるで新緑のトンネル。車では味わえないこの気持ち良さ。のはずなんだけど、ちょっと時期が早かったか。また行こ。

ちなみに、走行中はギアチェンジ皆無。常に一番重いギアのまま。「ああ、だめだ、もう太ももが上がらない！でもこのツラさが気持ちいいっ！」乳酸'sが乳酸'sたる所以。(りょう)

2005年5月12日

GWは暖かな日が続き裏磐梯は33万人が訪れたとか。でも、ここ数日は冬に逆戻りしたかのように雪が舞ったりストーブ生活です。

5月も中旬を過ぎるといよいよ林間学校シーズンで塾のスタッフ全員登山、カヌー体験プログラムに追われます。

昨日は仙台市立宮城野中学校のガイドで安達太良山に行ってきました。雪渓は昨年より大きく残っています。(もく)



2005年5月13日

雨です。

春の進みが遅めです。細野のハンノキ林のミズバショウは今見頃です。檜原湖あたりのオオヤマザクラきれいです。

キビタキは猫魔、蛇平、雄子沢でさえずってました。オオルリ、コサメビタキも来てます。コマドリの声は11日朝聞いたなあ。

オオヨシキリは11日午後、猪苗代湖畔で鳴いてた…この声聞くと浦和の秋が瀬で、高校生の自分がオオヨシキリやセッカの声聞いてた風景にトリップします。…ひゃあ？年前の話だ(笑)(まき)

2005年5月14日

いい天気！新緑最高山笑う秋元湖レポート。

【両生類】クロサンショウウオ卵塊、ヤマアカガエルおたまじゃくし、トウホクサンショウウオ卵塊、親(死体)、アズマヒキガエル卵塊

【花】アオイスミレ、オオタチツボスミレ、タチツボスミレ、ナガハシスミレ、スミレサイシン、ツボスミレ、ヒトリシズカ、ニシキゴロモ、キクザキイチゲ、キブシ、フキ、ニリンソウ、ウスバサイシン、カタクリ、エゾエンゴサク、ミヤマキケマン、エンレイソウ、ツクバネソウ(ツボミ)、コチャルメルソウ、ハウチワカエデ、アカイタヤ、オオカメノキ、オオバクロモジ、オオヤマザクラ、ソメイヨシノ。(まき)

2005年5月20日

気温といい風といい、新緑も光もこのうえなくさわやか～。五月晴！

五色沼(青沼)で今シーズン初トンボ確認。ふわふわひらひら飛びながら、透明な羽根きらめかせていた。イトトンボタイプ。

午後猪苗代でサナエトンボの仲間を見た。これも初もの。それから猪苗代町内の神社はしごして、新たな地点でムササビふん確認。やった(笑)。

チゴユリ、ツクバネソウ、ヒカゲスミレも咲いていて、森もすてきでまたいい所見つけちゃった～！(まき)

2005年5月21日

午前中カヌー体験プログラムを終わらせ、私とケンジ、りょうの3人で「プチアドベンチャーカヌーツアー」に行ってきました。

カヌー歴の浅い二人にとってははじめての川下りで、ちっ～ちやな瀬に歓声をを上げ大騒ぎ！

途中ポーテージ有り、藪こぎ??有りの珍道中でした。

このコース、来シーズンには新しいプログラムになるかも…??(もく)



五月晴続く！

赤沼さんと2人やぶこぎの果てに高曽根山のブナ太郎に会う。ブナはやっぱり新緑が最高だあ！

幹の途中にサクラとナナカマドとヤシヤビシャクが付いていて、そこはブナ太郎の中の小さな森みたい。

午後猪苗代でたくさんのオキナグサに会い、かたわらで熟睡。

宵の口裏磐梯でモモンガに会う。…くたくただけど幸せだ。(まき)

2005年5月22日

午前23℃。噴火記念館前でホトギス初鳴き。裏磐梯でエゾハルゼミ初鳴き(注:いずれも高橋確認の範囲)。

日に日に夏が来る～。ヤマシャクヤク見つけ！赤沼さんが最近発見したのとは別地点。花咲くころまた行こっ。

トウホクサンショウウオ卵塊70対！ここは知らなかった。道路端です。やっぱり歩かないと～。(まき)

2005年5月25日

「早稲沢でモモンガのふんみたいの見たんですけど～」

「えっ、今一緒に行ける？」即、I君と現場へ。スギに着木跡(滑空して木に着地した跡)が多い。その下にモモンガのふんがあった～。

「ここは調べてなかった～。新地点だ。よく見つけたねえ」23日に高橋は小野川でモモンガ

ふん見つけた。今日で裏磐梯モモンガ分布は7地点に！
うじゃうじゃいるのか？…ならうれしいけど(笑)(まき)

2005年5月28日

池田君から電話「カモシカの子が保護されたんだけど」
「行く！」自分の予定は明日に回し、カモコ(高橋命名)の元へ。今日細野で足を引きずる
ようにしてるところを保護されたそう。池田君が運転、私はカモコの入ったダンボールが
揺れないように抱える役。りょう君も同行。
大玉村の鳥獣保護センターで獣医の溝口先生に診てもらったら、熊の爪跡があり、脊椎
や肋骨骨折。手当してもらった。
自然界のクマとカモシカのことに手出ししないのがいいかもしれないけど、カモコを目の当
たりにしたらやっぱり治って山に帰って欲しいと思う。(まき)

2005年5月29日

高橋歩けばモモふんにあたる！つーか、それしか探してないか～(笑)。
今朝下見して大量モモンガふん発見。早速今日のガイドに活用。…でもスルッと見せて
しまうと探す大変さってわかんないよね。
で、最近鳴き始めたエゾハルゼミの抜け殻探しを参加した子供たちとやってみた…ら、な
いんだこれが！結局私が見つけてしまったが、子供たちも「あったあ！」それが発見のヨロ
コビよ。
探検に燃える彼らは、歩道脇の洞窟へ入った。するとコウモリが飛び出し、近くの崖にと
まった。昼からコウモリ観察できるなんてスバラシイ！君たちのおかげだ！キクガシラコウ
モリみたいでした。
次は私も洞窟に入ってみるよ(笑)(まき)

2005年5月30日

夜、モモンガの巣穴前で出てくるのを待つ。寒くないが、蚊の攻撃があ～。
視界に動きあり。19:23近くの沢にかかる倒木をハクビシンが渡っている。まったく足音が
しない！さすが肉も食べる動物。道路横切る姿は見たことあったが、森の中をふつーに歩
いてるの見るのは初めて！
モモンガは出なかった…自分がストレス与えてしまったか…なんにしても心配。19:50頃
ひきあげる。地面でホタルが光っていた。(まき)

2005年6月1日

いよいよ6月が始まりテレビでは衣替えの
ニュースを伝え、今日は会津若松で夏日に
なったそうです。裏磐梯も”夏”でした。
ガイドの仕事が忙しく今日のコースは雄国
沼。花はまだまだ！“夏”は遠そうです。
明日からはカヌーのイントラで、曾原湖の
上で過ごす時間が長くなりそうです。(もく)



夕方20℃、晴、無風。蚊に耐え、モモンガ張り込み。いなくなったのか、気になって…。森
に入るとアカショウビンが鳴いた。
またダメか…帰ろうとした19:47、穴からひょこ！あっモモンガ！幹の途中でしばらく私の
方みてから、登っていき、見失う。その後聞こえた金属的なジツッてのがモモンガボイ
ス？…とにかく居た、ほっ。(まき)

2005年6月5日

夜の鈍行電車に乗りながら、井上靖の小説読んでいる。神社、という言葉が出てくるたび、「ムササビが飛んだ」って描写がないかしら？と、どきどき。本のなかにもムサ探してる自分って…(笑)。

鏡石駅であいたドアからアマガエルの声が静かになだれ込む。(まき)

2005年6月7日

今夜もモモンガ張り込み。巣穴近くでいつもより小さい個体が幹をチョロッ。あれ、子供いたのっ…いや待て、落ち着け、背中に黒いラインが…ヤマネじゃないかっ！活動してるヤマネ初めて見たっ！

その後モモンガ登場。ヤマネより大きいやー。

ホオノキの香りが漂う。タゴガエルが鳴き交わす。夜が更けてトラツグミがヒー。(まき)

2005年6月8日

朝オオジギの背中見た。昼は鮮やかなクリソウ群落！その近くで太いやマカガシ遭遇。鎌首もたげ、その首を倒木にぶつけバシッ！…へびにこれほど怒られたことない。ごめん～。

モリアオガエル卵塊裏磐梯初見(←高橋が)、トウホクサンショウウオ卵塊とタゴガエル卵？見つけ、ブルーなツチハンミョウに会い、枝で鳴いてるエゾハルゼミ4連続確認、オニヤンマのヤゴ見てオオルリ追っかけ。…モモンガに会う元気売り切れ～(笑)(まき)

リハビリに専念してる今日このごろ。トレイルランは残念ながらドクターストップ。でもMTBはOKとのことなので、リハビリがてら桧原湖時計回り。

湖からの風を全身に浴びながら、タニウツギのピンクとレンゲツツジのオレンジに飾られた道を走り抜ける。

アオダイショウはガードレールを枕代わりにひなたぼっこ。道端で拾ったエゾハルゼミは木に戻してやると最後の力を振り絞って登り始める。

桧原歴史館で桧原湖をぼけらっつと眺めながらやくぜん茶をすする。これが一番のリハビリかも。(りょう)

2005年6月10日

めずらしく風邪ひき熱が37.9℃、ごほごほ。「モモンガ見すぎですよ～」そーかも…。

モモンガは風邪ひかないのかな～。「熱あるでしょ、今夜は巣穴から出るのよしなさい。と母に言われ、寝てることにした(モモンガ日記)」なんてね。(まき)

今日もMTB。トレイルランできない鬱憤をぶつけるかのごとく疾走。その姿はまるで鬼神のよう。会ったことないけど。ひやはははははは。うおっ、やべっ。

トンボやら蝶やら顔にバチバチ当たる。カエルをかわす。クモの巣に捕られる。「ああ、このまま食べられるのを待つね」なーんて食われる者の気持ちがわかるわけもない鬼神。

振り払うクモの巣。蹴散らす毛虫。吸われる血。蚊嫌い。

昼…「お、ゴマあんぱんあるよ」ささき亭でパンを頬張る鬼神。あー、幸せ。(りょう)

2005年6月12日

乳酸sファンの「最近、日記を書いてないから寂しいわ」という声を受け(ウソ)、たまには活動報告。

5:45八方台スタート。6:40磐梯山山頂。1時間切ってるから合格。視界真っ白。

そのまま猪苗代スキー場に降りる。朝飯後、8:30猪苗代スキー場から登り返し。

再び磐梯山山頂。やっぱり真っ白。ちょっと早い昼飯を食いながら地元のおじさんと世間話。お花畑経由で昼前には八方台に到着。

乳酸sっぽいでしょ？(りょう)

2005年6月13日

「初恋ってしたことある？」小学生の男の子に聞かれる。かわいいねー(笑)
「うちらってけっこうワルだから」小学生の女の子が言う。
「どんなふうにワルなの？」
「消灯時間過ぎてもトランプずっとやってたんだよねー」
「そりゃワルだ」
磐梯山登山中の1コマ。(りょう)

2005年6月14日

熱&喉痛の峠は越したが、まだ鼻がきかない。
今朝も6時半からエゾハルゼミ鳴く初夏！なナイスデー。ホオノキやフジの香りが漂ってるはずだ…かぎたい～。
いつも無意識に五感で自然をとらえてんだー、と気づく風邪の効能でありました。(まき)

2005年6月18日

鼻も回復してきて、やや花の香りがわかるようになった。ふ～。
昨日猪苗代にキツネの巣穴？を見に行く。数日前は穴の外にウサギの頭が落ちてたそうだが、もう無かった。
そこは牧場で、草地の地面深～く穴が掘られていた。入り口は離れ離れに5カ所くらい。
映画「キタキツネ物語」の場面そっくり…。そうっと待ってたらキツネに会えそう。(まき)

2005年6月19日

磐梯山へ。中の湯のミツガシワ、イワカガミがピーク！ 沼の平もミツガシワ咲くけど道から遠い。中の湯は木道の周りに咲いてていいですよ。
中腹のサラサドウダン、レンゲツツジもgood。コヨウラクツツジ、ガクウラジロヨウラク、ムラサキヤシオは終盤ですが、ツツジ満喫するなら今！
お花畑はミヤマキンバイ真っ盛り。火口壁のなかをアマツバメがヒュン！(まき)

2005年6月20日

昼にどしゃぶり、のち晴れた夕方「モリアオガエルが卵産んでるわよ」と電話。
うちから近いが知らない場所だ。隣のカエラー(=カエル好き)まちちゃんと長靴はいて探しに行く。
たった今やぶこぎしたよな後をたどると、コココ…お、鳴いてる。沼のほとりの木の枝に卵あり。まちちゃんが幹に張り付いてるカエル発見。水面をギンヤンマ(多分)が飛んだ。
もう1カ所の沼では、卵のかたまりの上にカエルが10匹くらい群れて、後ろ足で泡をこねている。お一産卵現場だあ！時間は18時頃。明るいうちに見たの初めて。(まき)

2005年6月21日

もくもく自然塾ではプロガイドの自覚を持つため各プログラムに対してリスクマネージメントも含め研修を行っています。
今年から「JRCA」の公認スクールになりスタッフのレベルアップも兼ね曾原湖で実施しました。ロープワーク、セルフレスキュー、牽引、スローロープワーク等実践中心の充実した？半日の研修でした。
今日は来シーズン向けのプログラムの下見です。(もく)



2005年6月24日

梅雨なんですか？ 毎日降らないなあ。
裏磐梯のカレー屋でお昼を食べてたら、店内にトンボが。ヤンマの仲間だがわからない。
デジカメで撮って、窓から放す。
調べたらコヤマトンボでした。(まき)

2005年6月25日

9時から裏磐梯のブナ林をやぶこぎ。モモンガのフンや巣穴探し。
ギンリョウソウ、ショウキラン開花。カラスシキミ若い実。ルリクワガタ？、トウホクサンショウウオの卵、クマのフン！モモンガのフンは…ない(涙)。
2時、へろへろだ。「あの穴見たら帰るか〜」その穴から鳥が出た。「へ！？」待ってたらヒガラが来た。2羽揃って虫くわえてきて順番に入る。夫婦で子育てらしい。…モモンガの巣穴見つかんなかったけど、いっか。

星空。夜8時半休暇村キャンプ場の川でゲンジボタル10飛んでました。カジカガエルの声も。ついでに川のなか照らしたらウチダザリガニも(笑)。(まき)

2005年6月27日

先週末はもくもく企画「花トレ」でした。ハッキリ言って今年の雄国沼湿原の「ニッコウキスゲ」は最高です。昨年、遅霜の影響でただの原っぱ状態が今年は黄色の絨毯になっています。
今年から始まったマイカー規制もトラブル無く順調のようで多少の不便は大きな感動を呼ぶようです。
今年は今月の1週目位まで楽しめそうです。



P.S. 駒止湿原のワタスゲも感動モンでした。(もく)



チーム乳酸's リョウ&ケンジ、久々に2人での活動。
早朝静かな森の中、とある山道をMTB(マウンテンバイク)でカッ飛ばすため、沢を渡り、MTBを担ぎ上げ汗をダラダラたらしながら急な登りを上がっていく。
『ゼ〜ゼ〜ア〜登りきったーッ！』たくさんはやぶ蚊が、待ってましたばかりにオレたちを歓迎してくれている。
さあーいよいよ下りだッ！頭の毛が逆立つおもいをしながら倒木を越え、岩を越え、へなちょこライダーがカッ飛ばす。雄叫びあげながら思わず2人でデッドヒート。
下りきったところでちょっと一息。『あーいい朝だ。朝飯がうまいッ！』のんびりしているとポツリポツリと雨が降り始めてきた。いよいよ裏磐梯も本格的な梅雨だなあ。
雨で色濃くなった森の中をクマの足跡追いながら再び走り出す…(けんじ)

2005年6月28日

大雨。南会津は伊南村でモリアオガエルの卵を見る。田んぼではトノサマガエル捕まえ、I氏に区別点を教わった。よし！

会津若松の無農薬(人力草取りだ!)田んぼでモートナイトトンボたくさん!!とハラビロトンボ、アマガエル見る。アマサギ立っている。隣の田んぼはトンボいない。生き物がある田んぼは生きてるって感じがする~!
裏磐梯に帰り道端でモリアオガエルの卵見る。これがフツーって、やっぱすごいな。(まき)

2005年6月29日

雄国沼へ。
いままで見たなかで最高のニッコウキスゲお花畑! 圧倒的っ!
1日で咲いてしぼむから、1株のツボミ数えた高橋予想ではあと1週間はお花畑と見たっ(笑。ま、ツボミ6~7あったからね)。行って下さい見て下さい!(まき)